

かもいろ

夏

号
2014 Vol.6

特集

〈 29年間の歴史 〉

市民総参加でにぎわう

越後加茂川夏祭り

TAKE FREE(無料)

小京都 みいつけた

花火づくり

花火の製造や打ち上げ、そして花火大会を請け負い、打ち上げを仕事とし、夏の夜空を盛大に演出する花火師。

熟練した花火師への道のりは長く、火薬類取締法に定める火薬類製造保安責任者の免許を取得する他、星かけ（花火の光を出す部分を作る作業）が身につくまで5年、玉貼り（紙を均等に貼り、星を均一に飛ばして真球形の花火を作る作業）は3年かかると言われていました。

日本の花火技術は世界的にも高いレベルと評価され、各国に招かれることもあります。どこから見ても真丸い球状に見える花火は日本独特のもの。長年花火師によって受け継がれた伝統文化と言えるでしょう。

今年はいじくりと花火を見てみませんか？

撮影／阿部煙火工業(株)

(加茂市新町)

花火製造の最終工程「玉貼り」作業。花火の大きさは10号玉

